



ひまわり



COVID-19（新型コロナウイルス感染症）と 茨城県立医療大学付属病院

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症（国際正式名称：COVID-19）は、発生原因は依然として謎ですが、チャーター便による邦人帰国支援、クルーズ船の帰港と検疫、国内流行と推移してきました。結果的に、チャーター便とクルーズ船の防疫ミッションはほぼ成功でした。ただし、報道が過熱し、クルーズ船に集中したあまり、主に3月に見られていたヨーロッパからの流入を止められなかったために、国内に蔓延してしまったのではないかとされています。

それ以降の、いわゆるコロナ禍は、第一波で徹底的にたたき切れなかったこと、事態に関心の薄い年齢層の抑制が効かなかったこと、発生源からの情報提供が非常に遅れたこと、ワクチン開発に時間がかかること、治療薬が完成していないこと、そもそも病気の全容をつかむまでに時間がかかったこと（これらは致し方のないことですが）などから、第二波～第四波と進み、ウイルスの変異も伴い、ワクチン接種が進んできた現在も、なかなか収まり切れないのが現状です。

しかし、人間は叡智を絞って、COVID-19の拡大を防ぐために、「新しい生活様式」を編み出し、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い、④「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の基本的な感染対策を取り入れ、一人ひとりが感染防止に取り組むことを官民挙げて推進してきています。



茨城県立医療大学付属病院
院長 中島 光太郎

茨城県立医療大学付属病院でも、職員のワクチン接種を優先して進め、さらに、入院中の患者さまに対しても、可能な限り個別接種を進めています。また、外来、お見舞いの方々にもご協力をお願いし、入館時に体温測定や体調確認をこまめに行っております。さらに、入院患者さまへの面会については、国内の 90% 近くの病院が禁止になっていますが、入院患者さまの精神面での問題が表面化しています。そこで、当院では、感染対策委員会を中心に慎重に議論を重ね、時間の制限をある程度設け、親族に限定して、原則一名の面会を可能とさせていただき、何とか、病院でのクラスター発生を抑えて病院機能を維持し、安全で安心できる医療を提供できるように努めてきております。

隣接する茨城県立医療大学でも、先ごろ、学生へのワクチン接種を茨城県内で最初に完遂し、医療施設での実習に影響が出ないようにいち早く対応させていただきました。そして、前掲しました基本的な感染対策を徹底して、付属病院内での実習が安全に行えるようにして、患者さまにも安心して医療を受けていただけますよう準備ができております。

振り返れば、4 月 1 日に病院長に就任して早々から、多くのエネルギーを、付属病院と茨城県立医療大学のコロナ対策に費やしてまいりました。これからも付属病院の職員一同、また、大学関係者の皆さま、ご利用いただいている患者さま、ご家族の皆さまのご協力も得て、安心で安全な医療を提供できる病院であるよう、全力を尽くしてまいりたいと考えております。今後とも、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



診療体制が変わりました

令和3年4月より新たな先生方をお迎えし、当院の診療体制が変更となりました。新設した脳神経外科では、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、頭部外傷などの後の心身の障害に対して、脳機能画像診断やロボット技術などの最新の技術も利用し、心身の機能や生活の質の改善を目指して診療を行っております。また、専門外来として、頭痛外来・もの忘れ外来（脳神経外科）、スポーツ外来（整形外科）がスタートしました。どうぞ、お気軽にご相談ください。

詳細はホームページにてご確認ください。

<https://www.hosp.ipu.ac.jp/gairai/jushin/>



新型コロナウイルスワクチン接種の対応について

当院では現在、阿見町や関係機関と調整のうえ、新型コロナウイルスワクチンの接種を進めております。当院職員の接種完了後、阿見町の個別接種会場として、高齢者の方から優先接種を開始しました。また、阿見町の集団接種会場に医師・看護師を派遣し、接種に協力しました。

さらに本学は、茨城県の大規模接種会場となっております。当院患者様にはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◇当院でのワクチン接種状況

令和3年3月～5月 当院職員のワクチン接種完了

6月～ 65歳以上の方のワクチン接種開始

今後も国や阿見町のスケジュールに従い、順次接種を進めて参ります。

	会場	住所
阿見町個別接種	当院	阿見町阿見4733
阿見町集団接種	総合保健福祉会館『さわやかセンター』	阿見町阿見4671-1
茨城県大規模接種	県立医療大学 体育館	阿見町阿見4669-2

※ワクチン接種の予約については、当院では対応しておりません。

お住まいの市町村のホームページ等で予約方法をご確認のうえ、ご予約をお願いします。

※近隣に接種会場が複数あるため、お間違えの無いようお気を付けください。

※茨城県大規模接種会場へお越しの際は、こちらをご参照ください。



茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、
安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、
患者さんが住み慣れた地域で、
安心して、その人らしく生活できるように支援します。

●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

医療機関のみなさまへ

◆◆◆ 画像診断サービスのご案内 ◆◆◆

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL：029-888-9213

FAX：029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。

当院へのアクセス



●鉄道・バスをご利用の場合

- JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車
- 土浦駅（西口）からバスで約25分
「阿見中央公民館」で、
「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分
- 荒川沖駅（東口）からバスで約25分
「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

●お車をご利用の場合

- 常磐自動車道「桜土浦IC」より約25分

～令和2年度診療実績～

- 延外来患者数 18,840人
(1日平均 77.53人)
- 延入院患者数 35,175人
- 新入院患者数 472人
- 退院患者数 500人
- 平均在院日数 71.35日



茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>

